

# はあとふる VOL.2

HEARTFUL 2001.4



はあとふるグループ

# New Face OPEN

## はあとふるグループの新しい仲間 「ゆうゆうハウス」 オープン!!

このたび、はあとふるグループでは  
小さな小さな「社会福祉法人 はあとふる」を  
立ち上げました。

島田病院の駐車場の一角の

「ゆうゆうハウス」が拠点となります。

4月より、入居定員6名の

「高齢者生活支援ハウス」と

介護保険サービスの「通所介護」と

「介護サービスセンター」を

併せて開設いたします。

皆様のご支援をいただいで

かわいく歩き出したいと考えていますので

宜しくお願い申し上げます。



お年寄りの暮らしをサポート

社会福祉法人  
はあとふる

### ゆうゆうハウス

#### ●内容

①高齢者生活支援ハウス

(入居定員6名)

②通所介護(定員20名)

《ご利用時間》

施設到着/午前9:30頃

施設出発/午後4:00頃

《サービス内容》

入浴(温泉風呂場)・昼食・行楽

行事・買い物・レクリエーション

(手芸・調理など)

※各ご家庭まで送迎いたします。

(ただし、地域によってご希望に  
添えない場合があります)

③介護サービスセンター

ケアプランの作成

#### ●対象

①高齢者生活支援ハウス

60歳以上の一人暮らしの方や、

ご夫婦のみで生活されている方  
で、自立して生活されることに  
不安のある方

②通所介護

介護保険制度で「要支援」「要介  
護」の認定を受けた方

#### ●申込先

①高齢者生活支援ハウスは

羽曳野市役所内 保健福祉部  
高年福祉課

②通所介護は

現在、ケアプランをご依頼され  
ている担当のケアマネージャー  
にご相談下さい

#### ●お問い合わせ先

社会福祉法人 はあとふる

ゆうゆうハウス

TEL.0729-31-1616

(担当:河原・小倉・黒崎)

南河内圏域 地域リハビリテーション研修会



## 南河内圏域 地域リハビリテーション研修会を開催して

さる3月3日、羽曳野市  
市民会館にて南河内圏域地  
域リハビリテーション研修  
会を開催しました。この研  
修会は、地域リハビリテ  
ーション推進事業の南河内地  
域支援センターである島田  
病院と、藤井寺・富田林保  
健所の共催にて開催しまし  
た。当日は医療関係者だけ

でなく一般市民の方々も参加され、総勢250名  
のご参加をいただきました。

第1部では、高知県にある医療法人 近森会  
の石川 誠先生をお招きして「地域リハビリテ  
ーション支援活動の進め方」についてご講演  
いただき第2部では、当法人理事長島田永和  
との対談を行

いました。今後、リハビリテーションは急性  
期、回復期、維持期に機能分類され、利用  
される方の状態に見合った適切なサービス  
が提供される必要があり、そのためには各  
施設が自施設の機能を明確にすること、  
また利用される方も自ら施設を選択する  
必要があるとの意見交換を行いました。

島田病院では、整形外科疾患については「  
急性期から維持期までのリハビリテーシ  
ョン」、脳卒中などの神経系の疾患につ  
いては「回復期から維持期のリハビリテ  
ーション」を提供しております。今後、さ  
らにその機能を高め、ご利用いただく皆  
様に満足いただけるよう最大限努力いた  
します。

また、老健での生活リハや通所リハ、訪  
問リハ、訪問看護、訪問介護、住宅改  
造など法人で提供できる継続したリハ  
ビリテーションや支援を、より一層充  
実しなければ、と痛感しました。

# 島田理事長が 島田病院院長・介護老人保健施設 悠々亭施設長に就任いたしました。

5年の間、八尾はあとふる病院院長と理事長業に専念しておりました。この度、八尾はあとふる病院を坂本院長にお任せし、島田病院院長および、介護老人保健施設悠々亭の施設長として仕事をすることになりました。島田病院はこの間、上野院長が管理者として運営され、システムも改善されています。週に3回、整形外科医師として外来診療を担当しておりましたが、直接管理業務は行っておらず、浦島太郎の気分です。

レストランやホテルといったサービス業と同じように、病院や介護老人保健施設の

ようなヘルスケア機関も、いつの間にか、地域がそのサービスを評価しています。利用者の方の実際の感想だけではなく、口コミで広がる評判が実在します。一番それを知らないのは、その施設に勤務している人た



島田永和

ちであり、もっとも遠いところにいるのが責任者である院長や施設長かもしれません。つまり、羽曳野地区において、島田病院、悠々亭および在宅サービス部門は、よきに

つけ悪しきのつけ、すでに一定の評価を下されているのだらうと思うのです。

今回、再度、羽曳野地域の責任者となり、私は、この「地域からの評価」を大切にしたいと考えています。どんなところが「なかなかいいよ」と、ほめられているのか、そして、こちらの方が大事ですが、どんなところが「それじゃあ、あかん。誰も紹介できへんで」と言われているのか、是非、知りたいと思っています。そして、良い点を伸ばし問題のある部分については徹底的に分析し改革していきたいと考えています。

正直で、率直な感想というものは、聞くのが少し恐ろしい気もしますが、職員とともに、勇気を出して、ご意見に耳を傾け、少しずつでも改善できるよう努力していきたいと考えています。地域の皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度、特に集中して取り組みたいのは、「看護」と「リハビリテーション」の質の向上です。利用者の方へのヘルスケアサービスは一人ではできません。法人の使命、施設の理念の具体化という共通の目的に向かいしっかりとチームを形成して、良質のサービスの提供に努めたいと思います。どうぞ、よろしく、ご指導ご協力のほどお願い申し上げます。



坂本和博

## 坂本副院長が八尾はあとふる病院 院長に就任いたしました。

今年4月より八尾はあとふる病院の院長に就任致しました。当院に勤務し早や約4年、地域の皆様との緊密なコミュニケーションに根ざした医療を目標に診療に従事して参りました。今後とも患者様と職員の対話を大切にし、皆様より信頼され、また、お気軽に利用していただけるような地域密着型の施設づくりを目指していきたいと考えております。

当院の入院施設は療養型病床で、慢性

疾病の長期療養に対する介護やリハビリテーションに力を入れております。また、平成14年には新病院がオープンする予定で、今まで以上により良いサービスを皆様方にご提供できるものと確信しております。

今後とも職員共々、良質な医療・介護に尽力する所存でございますので、宜しくお願い致します。なお、島田前院長は、従来通りスポーツ整形を中心とした、整形外科外来を継続して担当しております。

# 第7回

# 「スポーツ選手&指導者交流会」盛況! 多数のご参加、本当にありがとうございました!



また、今回は「スポーツ博物館」と題して、オリックス・ブルーウェーブのチームドクターである、理事長

いきたく存じます。貴重なご意見ありがとうございました。

## よかった内容・役に立った内容

2月10日、島田病院主催の「スポーツ選手&指導者交流会」がホテルエコーオーサカで開催されました。スポーツ選手&指導者交流会は今回で7回目を迎え、今回のテーマは「膝のスポーツ傷害 その治療と予防対策」で、スポーツ選手、スポーツ指導者、学校関係者、スポーツクラブ、サークル所属の学生など約130名の方々にご参加いただきました。

また、今回は「スポーツ博物館」と題して、オリックス・ブルーウェーブのチームドクターである、理事長島田永和と元オリックスのイチロー選手とのスナップ写真、サインボール、サイン入りバットなどの展示や、昨年のシドニーオリンピックで見事「銀メダル」をとったシンクロナイドスイミング選手たちとの写真など貴重な品々の展示を行いました。

- ケガや障害が起こった時に、休まずに直していくというのを聞いて勉強になりました。
- 障害が「治る」ということについて改めて考えさせられました。
- 現在、職場で実施している内容の確認になり、大いに参考になりました。
- ストレッチの必要性がよくわかった。
- 島田病院の理念がよくわかりました。
- 現場にすぐ活かせる内容でありがたかった。
- 膝のケガの種類を詳しく説明していただいた。
- 現場の教師の意識改革を強く考えさせられた。
- 育て、育むリハビリテーションでは、自分と重ね合わせて聞けたのでとてもためになりました。
- スポーツ選手における治療のコンセプトがわかってよかった。
- 4人の講師の方々の話がつながっていて、大変わかりやすかった。
- 短時間で様々なお話が聞けて有意義でした。
- アメリカに負けない術後のケアを期待します。

第1部では理事長 島田永和、島田病院整形外科医師の金 国一、理学療法士の山口琴美、はびきの健康プラザ メディカルトレーナーの大西敏之による講義を行い、講義終了後の質疑応答では、会場から活発なご質問をいただきました。

それでは、参加された方々から寄せられたご意見、ご感想の一部をご紹介します。

第2部では、懇親会とポスター展示や内科医師 植田秀樹、管理栄養士 木村京子、メディカルトレーナー 鈴木秀雄による各種相談コーナーを設け、普段なかなか聞くことのできないスポーツ現場での悩みや、具体的な処置の方法など参加者との積極的な意見交換が行われました。

なお、お寄せいただきましたご意見、ご感想は、今後の「スポーツ選手&指導者交流会」に反映させ、より一層、内容の充実を図って





## わかりにくかった内容

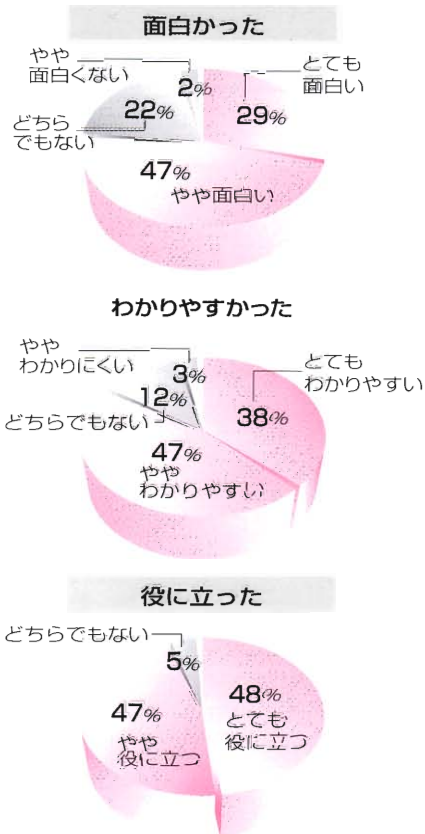
- ◆ストレッチはもう少し何種類かの方法が知りたかったです。
- ◆アイシングのやり方をもっと詳しくお願いします。
- ◆ケガ防止のトレーニングをもっと知りたいです。
- ◆専門用語、略語については、解説を併用してもらえればありがたい。
- ◆時間に制約があり、講義が早口だったので資料に説明文を書いて欲しい。
- ◆医師、理学療法士の意見、専門的な話（現場に出てこそその意見）が聞きたかったです。

## 今後取り入れて欲しい内容

- ▼各部位の障害を持つ時のリハビリの方法
- ▼各傷病に対して、どのような運動療法を取り入れるべきか。
- ▼術前、術後などの詳しい内容の講義をしてほしい。
- ▼術後復帰の実例
- ▼リハビリ、ストレッチ、RICE処置の実演（実技・指導）コーナー
- ▼講義形式だけでなく研修も実施してほしい。
- ▼腰部、足部、頸部、肩、肘各関節の講義
- ▼わかりやすくバイオメカニクスについて
- ▼内・外反膝のケアの具体的な方法
- ▼腰痛の様々なパターンとリハビリのやり方

皆様のご要望にお応えして、4月から偶数月に「ミニスポーツセミナー」を開催することとなりました。詳しくは、最後の「はあとTO ハート」のインフォメーションをご参照下さい。

## ご意見のアンケート結果



# Link Nurse System

## 島田病院の院内感染防止への取り組み① リンクナースシステムって何？



感染管理担当  
**森下 幸子**

病院の感染対策の目的は、患者様や医療従事者に対する感染のリスク（危険性）を最小限に抑えることです。当院では感染対策委員会を中心とした組織を確立していますが、それとは別に患者様との接触の機会が最も多い看護婦が実践的に感染管理を行える方法として、「リンクナースシステム」を導入しています。

「リンクナースシステム」は、主にイギリスで確立されたものです。例

えば、イギリスの750床クラスの病院では、2名の割合で感染管理専門の看護婦を配置し、その看護婦から教育を受けたリンクナースが各病棟に配置されています。

リンクナースの役割は①感染管理専門看護婦のサポート ②病棟での情報収集 ③病棟での教育・啓蒙・改善活動を行う ことです。しかしながら、日本では今年、20名の日本看護協会認定の看護婦が生まれたば

かりで、「リンクナースシステム」を導入している病院も少ないのが現状です。私は、患者様が適切な治療を受け、いい看護を受けられるためには、感染対策が重要なカギになっていると確信し、「リンクナースシステム」を学び、島田病院で実践してきました。

今回は、島田病院での感染対策の実際をご紹介します。また、ご意見やご質問は、感染管理担当の森下までお気軽に声をおかけ下さい。

# 「きくぞう君」をご存知ですか？

ご利用いただく皆さまの声を反映させるシステムです！



- ◆施設内に、象の形をした投書箱が設置されているのをご存知でしょうか。この箱は、通称「きくぞう君」と呼ばれています。
- ◆「きくぞう君」は、平成9年にご利用者の皆様の声を反映させるシステムとして設置されました。現在、島田病院（内科前・整形外科）、介護老人保健施設 悠々亭（受付前）の計3カ所に設置しています。
- ◆以来、多数のご利用者の皆様より貴重なご意見・お褒め・お叱りの言葉をいただき、業務内容や施設の改善を行ってきました。
- ◆最近の投書いただいた内容および、ご返答の一部をご紹介します。

## ●ご意見・ご質問

島田理事長/上野院長殿

私は、10月13日にヒザの手術を受け、10月21日に退院する者です。当院の皆さまにお世話になり、お陰様で無事退院するに際し「感謝の気持ち」として素直な意見を述べるのが「そのお礼」になるのではと思い、これを記すことにしました。

その訳は、初めて来院した時(9月1日)廊下で見かけた新聞の「病院のアメニティ」「サービス業の考え」にに興味を覚えたからです。「理念」に沿った病院に1歩ずつ近づくために万に一つ参考になればと思いつつ、以下記します。

### 1. 入院していて感じたこと

#### ①入院中のスタッフのサービス

検査、手術、看護婦、看護補助、主治医の対応、洗面、トイレ、シャワー等、おしなべてOK。特に、主

治医の気さくな対応で自分の手術は失敗していないとの確認を得た。

#### ②いいなあ！と感じたこと (厳しくいえば当たり前のこと)

- 手術中、画面を見ながら悪いところ、今、何をしている etc、説明をしてくれたこと。(局部麻酔で頭スッキリしていた/手術時間短く感じた)
- 看護婦の姿勢、患者のわがままで療養に不具合のことがあれば、それをキゼンと注意していた。(タバコのこと、歩きすぎ、体の移動のこと……) 個々のバラツキはあるが……。
- 地下リハビリ  
四日目ぐらいまでエキササイズがどんどん増えていったが、略図でメモし、渡してくれたので次の日も楽に消化でき、これはいいなあと感じて、退院後の大切なテキストになります。私から見るとこれ

ぞサービス業の実践例と思う。

#### ③質問

- 服装(作業ウエアー): スタッフ全員同じのは理念として理解しています。私は看護を受ける中でナースに頼みたいこと、補助者に聞きたいことの区分ができず、一寸、不便を感じた。何かマークで区分できたのですか？
- 他の患者の「点滴が漏れています」のコールを2回聞きました(1つは外に、もう1つは皮下にとの事)、事実は知りませんが、これはある程度仕方ないことと思いますが、各人の技術なのか、患者の特異性なのか？少なくとも反省点の一つとしてレベル向上を望みます。(病院のサービスの最重要ポイントは病気治療と安心の提供と思います。そのためにDr・ナースの更に一流レベルへの到達努力を希求します。)



看護部長 森下より

- ◆看護部長の森下と申します。  
看護部の理念としまして、「法人の理念を実践するために、看護、介護

者は常に知識・技術を磨き、豊かな感性を育み、専門職としての誇りと責任を持って、地域の方々から信頼される質の高い看護と介護サービスを効率的に提供します」と掲げています。今回、患者様からのご意見の内容

は、この理念が実践されているのかに当てはまるものとして受け止めております。看護婦の能力不足、個人差も含めてのお礼の言葉は、看護部長として、うれしく受け止めた反面教育不足を痛感いたしました。日々

看護スタッフ全員に質の高いサービスを提供させるためには、どのような教育内容が適切なのか試行錯誤しておりますので、ご指摘の内容をスタッフ全員に理解させる事が今後へとつながる一歩と思っております。

### ◆ユニホームについて

職種の差がわかりにくいと以前からご指摘を受け、名札の色や文字を改善して参りました。「衣服の色やデザインを分ける事が必要なのかも知れない」と考えておりますので、暫くお待ち下さい。

### ◆点滴の技術不足について

患者様に痛み、不安を与える危険性が高い処置に関しましては、技術の向上をしなければ専門職ではありません。スタッフには、1年間の教育プログラムを経験年数に分けて行っております。特に技術面においては、新人の場合、入職時に行っていますが、学問と技術の差はなかなか埋める事が難しいのも現実です。

しかし、常に技術を磨かなくては患者様にご迷惑をおかけしますので来年度より技術実践の教育を強化する計画を立てております。看護婦として、患者様の健康を支援し安楽な入院生活を過ごしていただく事が責務と思っております。

今回のご意見を無駄にしないように教育の強化と改善をお約束致します。

## 2. きくぞう君の回答掲示をみて

10月12日に入院した日、1階の回答掲示板を見たら私が9月1日に出した意見書に対する回答がありました。うれしく読みました。

『外来3診前天井に大きなシミがあり、きたない』件

●基本的に丁寧な回答で、応急処置も済んだ旨、安心しました。

●理念に近づく為(厳しく言えば)この回答の中身に私は疑問が残ります。

10月21日現在、きたないシミ跡(頭2ヶ分位)は未だ取り除かれていない。当院の基準がここまでなら、何も云うことはありません。



業務科長 東より

◆施設管理担当の業務科長の東と申します。

投書をいただき、応急処置の後、本作業を行い、水漏れが完全に止まっているか経過観察をしておりました。ただ経過観察後のシミの撤去が遅れており、私が催促していなかったことは事実です。再度手配し、11月中旬にパネルの取り替えを完了いたしました。

「整形外来天井のシミ」を、施設を

管理している業務科よりも先に患者様が発見されたことにつきましては、院内でも「プロとしての意識の欠落」や「業務に情熱と責任感を持つ」という指摘を受けました。恥ずかしいことですが、修繕の費用などを考えると、だんだん汚れや傷を見ても、麻痺して目に入らなくなっていました。

今後は業務科スタッフ一同、患者様の立場に立った視線で施設を見回り、改善を提案できるよう、プロとして自覚を持って業務を行って参ります。

## 3. 最後に

以上まとももなく、感ずるままに乱筆で記しました失礼お許し下さい。この病院を少しでも良くしたいという気持ちに免じて!

理念は立派です。その思い、各部門はどうするかをつみ重ね、実践例で全スタッフにテキストとして徹底して下さい。責任者はOJT(仕事の中で)具体的に指導しつづけて下さい。理事長・院長→TOPの考えは業容拡大中で今は徹底しにくいと感じますが、手を抜くと病気と同じで建て直しに倍時間がかります。

TOPの考えは次の立場の人に…上から下まで理念が真に同一になって下さい! 謝々 62歳 男性



理事長 島田より

◆今回は、お心のこもったご指摘をいただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

私たちにとって、耳の痛いご指摘であるにもかかわらず、読ませていただきながら、胸の熱くなる思いにとらわれておりました。こんな思いで私たちの活動を見ていただいている方がおられると知って、身の引き締まる思いがいたし

ます。同時に、それは私たちへのエールのようにも受け取らせていただき、改革へのエネルギーにしなければと考えております。これまで以上に、ご期待に沿うようなケアの実践に向けて、活動を続けて参りたいと存じます。

理事長として、当法人が提供しているサービスが、すべての場面において、必ずしも、理念に沿ったものではない面があると自覚しております。最高責任者として、その現状を認識した上で、どのようにしてその誤差を埋めていくか、

力を問われているのだらうと思えます。今回は、ご指摘の各事項につきまして、回答をさせていただいております。不十分な点もあろうかと存じます。これからも担当の管理者との協議を進め、その場限りではない根本的な対策を話しあいながら、一歩ずつ改革していきたいと思えます。これからも、率直で忌憚のないご意見をお待ちしております。

重ねまして、私たちへのご関心と温かいご指導に、心より感謝いたします。ありがとうございました。

# はあとふる to 情報レポート



ろうけん悠々亭のクラブご紹介

## 調理クラブ

介護老人保健施設 悠々亭では平成12年4月より、各種クラブ活動を行っています。

こうした活動に主体的にご参加いただくことで、趣味を同じくする仲間やクラブ内での役割、しいてはやりがいを見つけていただくことができます。

今回は「調理クラブ」をご紹介します。このクラブは、月に1回悠々亭6F喫茶室で活動しています。今までに「明石焼き」「いなり寿司」「ホットケーキ」「プリン」などを作りました。もちろん調理後は、皆で楽しく

歓談しながら食べています。

今後は、メニュー選びからご利用者と一緒に企画して、より一層「企画し作る楽しさ」や「食べる楽しさ」を感じていただけるようなクラブにしていきたいと思えます。

また、お手伝いいただけるボランティアの募集をしていますのでお誘い合わせの上で参加下さい。

担当：千葉まで  
TEL 0729-53-1002

## 島田病院主催 「ミニスポーツセミナー」 開催のお知らせ

島田病院では、怪我や故障にとどまらず、怪我や故障が起きないようにするには、どうしたらいいのかを追究していくため、スポーツ現場で指導にあたっておられる方や、スポーツ選手を対象に、怪我や故障の予防と競技力向上を図っていくためのセミナーを開催します。競技種目・レベルに関わらず、どなたでもお気軽にご参加下さい。

- 日 程 偶数月の第2木曜日
- 時 間 18:30~20:00
- 費用 無料
- お申し込み TEL/FAX共通  
0729-37-1511

はびきの健康プラザ(直通)へご連絡下さい。または島田病院1F受付までお申し出下さい

### 年間テーマ(予定)

4月	腰痛と予防 《※4月のみ、4月26日(木曜日)開催》
6月	夏場の練習と水分摂取
8月	足首・すねの障害と予防
10月	栄養・サプリメント
12月	肩・けんこう骨の障害と予防
2月	ストレッチ

## 「はあとふるグループ」のホームページ開設 アクセスしてください!!

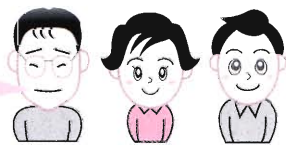


私たち「はあとふるグループ」の提供するサービスなどを紹介しています。まだ、制作中のコンテンツもありますが、今後充実してまいります。ぜひ、一度アクセスしてみてください。

<http://www.heartful-health.or.jp>



## こちら編集部



編集長  
◆五十嵐康貴 ◆浜田めぐみ ◆佐藤 貴志

今年1月に広報誌「はあとふる」が産声を上げてから、早4ヵ月が経ちました。「はあとふる編集部」には、今回から、浜田、佐藤のNew Faceが加わり、常に前号よりもグレードアップを図っていきたく思います。

今後とも、「はあとふるグループ」の基本姿勢、取り組み内容、トピックス等ホットな最新情報をお届けしてまいります。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

年4回発行 発行/編集「はあとふる」編集部 TEL 0729(53)1001 FAX 0729(53)1552 大阪府羽曳野市榎山1001 法人管理局内

はあとふるグループ